

新年のご挨拶

法人サービス・IT部会 部会長／理事
NTT SINGAPORE PTE LTD
Head, JMNC Sales
味方 利夫



シンガポール日本商工会議所会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。

本年の干支は辰年であり、天高く昇る竜に守られ、運氣も上昇していく年と言われております。シンガポールにおいても、辰年は験を担ぐため、出生率も上昇する傾向がみられるようです。会員の皆様におかれましても、本年が景気よく商機が上がっていく年となることを切に願っております。

シンガポールのITサービス市場ですが、シンガポール政府のデジタル化戦略に牽引される形で民需マーケットも含めた市場全体が、拡大基調となっております。2024年の市場成長率は、全体として約10%、業種別でも、ほぼ全業種向けで5%以上の拡大が予想されるという統計データがあります。主な成長市場はクラウドサービスなどの領域であり、金融・公共向けの市場が最も拡大していくとみられています（統計データはGartner社調査）。ITサービス市場において、昨年後半から顕著となっている動向を5つご紹介いたします。

①デジタルトランスフォーメーションの加速 政府、企業ともにますますパブリッククラウドサービスの活用とテクノロジーのソフトウェア化が進み、ITモダナイゼーションやライフサイクルマネジメントに対するニーズが拡大しています。CHAT GPTに代表される生成AIは、生産性向上、業務効率向上といった既存プロセスへの活用に留まらず、我々が驚くような新たなビジネスモデルが出てくる期待があります。

②サステナビリティへの貢献 企業内のESG関連データを可視化するツールや建物のスマート化などIoTソリューションのユースケースなども増えてきており、サステナブル経営をサポートする市場が盛り上がりを見せています。また、企業の購買プロセスにおいて、脱炭素や3Rに関する要件を頻繁に見かけるようになりました。

③情報セキュリティ対策 ビジネスメール詐欺(BEC)、ランサムウェア被害などによりサプライチェーンを含めた企業経営に影響を及ぼす事案が後を絶ちません。情報セキュリティガバナンスの強化、セキュリティ対策の高度化／継続的な取組などへのマネジメントの積極的な関与が求められています。

④タレントギャップ COMPASS導入、およびITスキルの専門化が進んだ影響もあり、シンガポール国内で有スキルIT人材の確保が難しくなっています。対策の一つとして、IT運用のアウトソースやインドをはじめとする他国などへの業務集約・オフショア化などが増えているようです。

⑤従業員向けのデジタルエクスペリエンスの強化 特にコロナ禍にGreat Resignationを経験した企業(弊社も該当します)では、場所やデバイスに依らず、働きやすい労働環境を整備して、シームレスなワークエクスペリエンスを提供しようと躍起になっています。Z世代従業員が増えてきている中、従業員エンゲージメント強化に向けて、ITをどのように活用をするかは今後の経営課題になると考えます。

当法人サービス・IT部会では、昨年も多くの新規会員の方に加入頂きました。加入理由としては、多くの方が日系企業内でのネットワーキングをあげていただいています。今年においては、活発な部会活動に向けて取り組みたく、皆様からのアドバイスやご支援を賜りますようお願いいたします。

新しい年が始まる中ではありますが、ロシア・ウクライナ情勢、イスラエル・ガザ情勢など先行きが不安定な状況が続いていますが、世界中で一日も早く平和と繁栄が広がりますよう心より願っております。本年が、皆さんにとってたくさんの良い出会いがあり、仕事もプライベートも充実した豊かな1年となりますよう祈念しまして年頭の挨拶といたします。